CASBEE-新築（簡易版）

建築物総合環境性能評価システムによる 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2006年版
■使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2006(v.1.1)

作成日	2006年9月5日	作成者	事務所 鈴木奈穂子	確認日	2006年8月4日	確認者	事務所 村田雅明

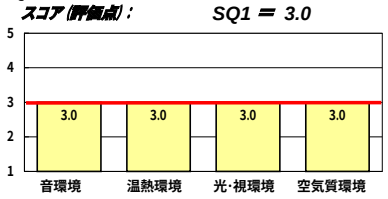
(1) 建物概要

建物名称	アバンエスパス烏丸御池	敷地面積	737 ㎡	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	集合住宅	建築面積	460 ㎡	
建設地	京都市中京区両替町通二条下る金	延床面積	2,330 ㎡	
気候区分	地域区分IV	階数	地上7階、地下1階	
地域・地区	近隣商業地域、準防火地域	構造	RC造	
竣工年	2007/9/31 予定	平均居住人員	78 人	
		年間使用時間	6,000 時間/年	

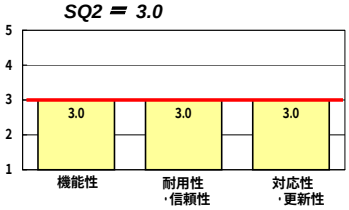
(2)-1 環境性能評価結果 (バーチャート)　注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)　SQ= 3.0

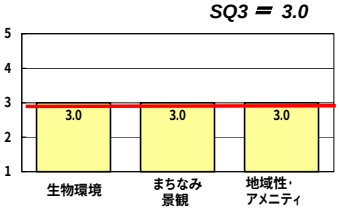
Q-1 室内環境　スコア(評価点)：SQ1 ＝ 3.0



Q-2 サービス性能　SQ2 ＝ 3.0

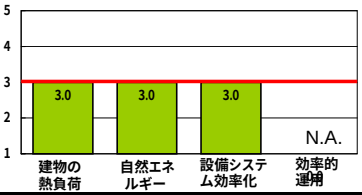


Q-3 室外環境 (敷地内)　SQ3 ＝ 3.0

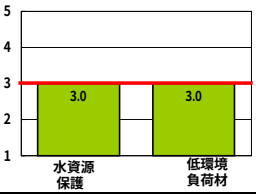


LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)　SLR= 3.0

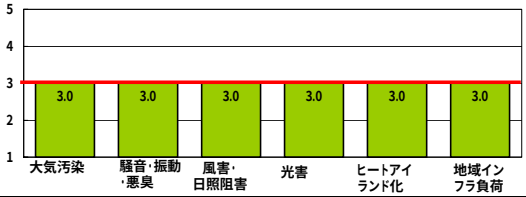
LR-1 エネルギー　スコア(評価点)：SLR1 ＝ 3.0



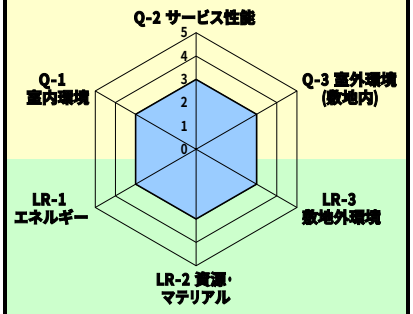
LR-2 資源・マテリアル　SLR2 ＝ 3.0



LR-3 敷地外環境　SLR3 ＝ 3.0



(2)-2 環境性能評価結果 (レーダーチャート)　注1

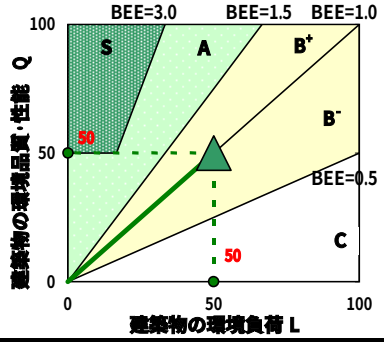


(2)-3 環境性能効率 BEE　注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 Q}}{\text{建築物の環境負荷 L}}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{50.0}{50.0} = 1.0$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目　注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標　＜実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入＞

	年間延床面積あたり指標		人・時間あたり指標		年間延床面積あたり削減量		削減率 %
運用エネルギー消費量		MJ/年㎡		MJ/人時		MJ/年㎡	
運用CO_2排出量		kg-CO_2/年㎡		kg-CO_2/人時		kg-CO_2/年㎡	
水消費量		m^3/年㎡		m^3/人時		m^3/年㎡	
LCCO_2排出量		kg-CO_2/年㎡		kg-CO_2/人時		kg-CO_2/年㎡	
LC廃棄物量		t/年㎡		t/人時		t/年㎡	
LC資源消費量		t/年㎡		t/人時		t/年㎡	

0　10　20　30　40　50 %

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例　Q：Quality　L：Load　LR：Load Reduction　SQ：Score of Q category　SLR：Score of LR category　BEE：Building Environmental Efficiency

備考
注1：当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。
注2：Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
　　Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
注3：(3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。